

(2) 募集停止

課程	学校名	内 容
全 日 制	川 俣	色染化学科 1学級
〃	〃	繊維工学科 1学級
〃	平 工 業	金属工業科 1学級

(3) 学科新設

課程	学校名	内 容
全 日 制	川 俣	繊維工業科 1学級
〃	〃	電 子 科 1学級
〃	白 河 実 業	電 子 科 1学級
〃	小 野	商 業 科 1学級
〃	平 工 業	電 子 科 1学級

(4) 学科転換

課程	学校名	内 容
全 日 制	福 島 商 業	商業科1学級を情報処理科へ
〃	小 高 工 業	工業化学科1学級を電子科へ

第2節 学校教育

1 概 要

(1) 指導行政の基本方針

生徒の能力・適性・進路・興味・関心等を十分考慮し、地域や学校の実態に応じた教育指導の充実を図りながら、人間性豊かな生徒の育成を旨として、学校教育活動が活発に展開されるよう次の重点目標を設定してその達成に努めた。

- ① 生徒の実態等を踏まえ、各学校が主体性をもって、多様な教育課程の編成や実施を行い、特色ある学校づくりができるよう指導援助する。
- ② 指導内容の精選と構造化に努め、習熟度別学習指導などを通して生徒一人一人を生かす指導方法の改善・工夫が図られるよう指導援助する。
- ③ 生徒指導の組織・体制を点検するとともに、教職員の共通理解を基盤として、中学校や家庭との連携を深めながら、生徒理解に基づく指導が展開されるよう指導援助する。
- ④ 生徒の学校生活への適応を促進し、中途退学者の減少及び生徒非行・生徒事故の防止が図られるよう指導援助する。
- ⑤ 教職員の資質と指導力の向上に努める。
- ⑥ 勤労にかかわる体験的な学習及び産業教育、情報処理教育の充実を図るとともに、施設設備の整備に努める。

(2) 指導組織

高等学校教育課長を中心に、次の人員が一体となって、それぞれの分掌に従い、企画、運営、指導助言に当たった。

主 幹	1名
主任指導主事	1名
指 導 主 事	16名
(うち、駐在指導主事 6名)	

また、県立高校教諭32名を学校教育指導委員に委嘱し、各教科の指導活動の充実強化を図った。

(3) 学校教育指導の重点

前記の基本方針に基づき、指導の重点を次のように設定し、指導の充実を図った。

① 教育課程の適正な運営と指導法の改善を図る。

ア 教育課程研究集会を開催し、学習指導要領の趣旨に基づく教育課程の運営と指導法の改善について、研究発表並びに研究協議を行った。

イ 教育課程研究会議を開催し、「授業研究の進め方」について研究し、手引書（指導資料第21集）を作成、配布した。

ウ 文部省指定研究学校（勤労体験学習、生徒指導、教育課程、職業教育（家庭）、県指定研究学校（学習指導、進路指導、生徒指導、情報処理教育）における研究実践の推進を図り、その成果の普及に努めた。

エ 教務主任研修会を開催し、特色ある学校づくり及び授業研究の意欲の高め方等について研究協議を行った。

オ 県立学校共同訪問により、特色ある学校づくりの観点から教育課程の編成と指導法の改善について指導助言を行った。

カ 特別活動講習会を開催し、ホームルーム指導のあり方について研究協議を行った。

キ 各種研修会、学校訪問等を通して、学習指導に関する下記事項の徹底に努めた。

(ア) 教科科目の目標を明確にとらえ、指導内容を重点化して基礎学力の充実を図ること。

(イ) 教材の特性に即して指導法に工夫を加えるとともに、学習指導の個別化に努めること。

(ウ) 学習効果を高めるための評価の方法について研究し、改善を図ること。

② 生徒指導の充実を図る。

ア 校内における指導体制の確立を期し、各種研修会、学校訪問等の指導を通して、教職員の共通理解を図り同一步調による生徒指導の充実を図めた。

イ 生徒指導研究会議を開催し、生徒と教師の人的ふれ合いをもとにした生徒指導を進めるために、指導資料第20集「ホームルーム指導のあり方について」を刊行、配布した。

ウ 新入生の保護者を対象に、家庭における指導のためのパンフレット「育てようずこやかに」を配布した。

エ 生徒指導推進地域を指定し、中・高及び関係諸団体が一体となって、環境浄化・生徒の健全育成を中心に、地域ぐるみの生徒指導の推進に努めた。

オ 生徒指導担当者研修会を開催し、生徒の多様化に即した生徒指導のあり方について研究協議を行った。

カ 学校における教育相談体制の確立と教育相談活動の改善充実を図った。